

令和5年度 昭和村立昭和中学校学校経営案

※斜体はR4年度からの変更、下線部は特に重視したい取組

1 教育目標等

- (1) 教育目標：英知・敬愛・鍛錬 (校訓：「凡事徹底」「プラス思考」)
- (2) 目指す学校像
 - ・生徒の主体性が尊重され、生徒・職員ともに心を寄せ合い、感謝し合える学校
 - ・昭和村の風土に根ざした、生徒・保護者・地域から信頼される学校
 - ・英知・敬愛・鍛錬に目標をもち、健康で笑顔と思いやりのある学校
- (3) 目指す生徒像
 - ☆「豊かな想像力をもつ生徒」
 - ☆「自分を振り返り、気づき、考え、行動する生徒」
 - ☆「自分に自信をもち、昨日の自分を超越しようとする生徒」
- (4) 目指す教師像
 - ・豊かな人間性に根ざす使命感・規範意識、温かさと柔軟性をもち支え合い高め合う教師
 - ・生徒の確かな成長(確かな学力、豊かな心、健康・体力)を願い、「生徒のために」という情熱と奉仕の心を中核に据えて指導・支援できる教師

2 学校経営方針

- (1) 生徒・保護者との信頼関係を築き上げる学校づくりの推進(目指す教師像にそった指導・支援)
- (2) 個と集団のよさを生かし確かな学力を向上させる授業改善の推進(目指す教師像にそった研修等)
- (3) お互いを尊重しよさを生かし合う、豊かな心と人間関係力の育成(目指す生徒像に向けた人権教育、生徒指導、道徳教育・特別活動、教育的部活動)

3 本年度の重点施策

- (1) 組織運営
 - ・高い同僚性を基盤に、役割を果たし合い補い合う組織的な協働体制の推進(チーム昭和中)
- (2) 教育課程・学習指導(教育目標：英知)
 - ・「学びの必要性」が自覚でき、目標への到達に向けて、学ぶ意欲が高まる授業改善の推進(ねらいの明確化、振り返りの重視、適切な学習評価の実施、ICTの有効活用、教師の役割の見直し)
 - ・お互いの意見を交流するよさを実感し、思考力を高め理解を深める授業改善の推進(対話的な学びの重視、言語環境の整備と言語活動の充実、メリハリのある授業展開、ICTの有効活用)
 - ・学校図書館充実事業成果の継続実践と修正・改善(意図的・計画的な実践)
- (3) 生徒指導(教育目標：敬愛)
 - ・自分と異なる立場・意見を理解し、お互いのよさを生かし合う人間関係力の育成(人権教育の推進、教育相談・生徒指導・いじめ防止活動の充実・ICTリテラシーの向上)
 - ・育てたい生徒像を踏まえた重点目標と、道徳授業や日常的道徳教育との関連を明確にした計画の作成、改善
 - ・自主性と自治的精神を育てる指導の充実(学級活動・生徒会本部・委員会活動の充実)
 - ・「家庭学習の手引き」や「生活のきまり」を活用した小・中学校一貫指導の推進
- (4) キャリア教育
 - ・将来の夢や希望を育むキャリア教育の推進(体験と自己決定の重視、職場見学・チャレンジワーク・中学生議会)
 - ・保護者との連携を図ったキャリア教育の推進(家庭訪問・三者面談・チャンス相談)
- (5) 健やかな体づくり(教育目標：鍛錬)
 - ・部活動の意義を生徒・教職員が実感できる適切な部活動の運営(県・村教委通達趣旨の反映)
 - ・体力向上プランに基づく運動に対する意欲の高揚と体力の向上(体育授業、教育的部活動の推進)
 - ・事故の未然防止を含む心と身体の自己管理能力の育成(食育、アレルギー対策、熱中症、治療率向上、肥満対策、緊急時対応指導)
- (6) 学校安全・危機管理
 - ・交通ルールの遵守や危険予測・回避の判断力の育成(自転車利用の指導、避難訓練、**不審者対応**)
 - ・災害やアレルギー事故等の未然防止と適切な対応(訓練・研修と危機管理マニュアルの改善・共通理解)
 - ・施設・設備の定例点検を基にした、迅速な対応による危険防止
- (7) 特別支援教育
 - ・生徒との信頼関係を基盤とした、温かい指導・支援の充実(目指す教師像にそった指導・支援)
 - ・多面的な生徒理解と生徒の実態に応じたICTの活用による指導の充実(個別の指導計画を活用した組織的な指導の充実)
 - ・通級指導教室に対する周知を行い、専門機関・支援員との連携を生かした指導の実践
- (8) 家庭や地域社会との連携・協働
 - ・保護者・地域と目標を共有し、コミュニティ・スクールの発足に向けた各種教育活動の改善と推進(職場体験・見学、中学生議会、授業参観等学校行事)
 - ・密接な情報交換に基づく連携によるスムーズかつ効果的な中学校の移行(中1ギャップ[®]解消、配慮を要する生徒への支援)